

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【食】

1. 都道府県、市町村 長野県箕輪町^{みのわまち}
2. 事業者名 中箕輪農事組合法人
3. 取組みの名称 赤そばによる地域おこし
4. 取組概要等

概要

平成5年、農業従事者の減少と高齢化等による遊休荒廃農地を減らすため、地元農家5名でそばの栽培を始めた。しかし、米の生産調整により減反が進み、全国的にそばの栽培が増え、価格の暴落を招いていた。

何か景観に良い作物がないかと暗中模索する中で赤そばの話を聞き、早速種を購入し、平成8年8月、道路沿いの25aに播いた。赤そばの花が咲く9月上旬より初霜が降りるまでの間、畑は薄いピンクから徐々に色を濃くし、畑は「真っ赤なじゅうたんを敷きつめたような」色になり、珍しさも手伝い道行く人たちから大変な反響を得た。「これはいける」と意気込み、翌平成9年から、最も荒廃が進んでいる山の中の畑を開墾するようにして3年がかりで赤そばの面積を拡大してきた。

現在では、箕輪町町内に13haと日本最大の栽培面積となっている。赤そばを使って農家の所得向上を図るため、そば処留美庵（るびあん）を平成10年4月に開店し、そばの提供を始めた。これが地産地消の始まりである。

そばだけでは物足りず、赤そばを使った加工品に着手した。赤そば焼酎を醸造・販売するために酒類販売許可を取得し、その後ラスク、クッキー、乾麺等の加工品、さらにニホンミツバチから採取した赤そば蜂蜜を開発し、販売している。また、そばの花が咲く時期には、マスコミへの情報発信や、旅行会社との連携で観光ツアーを設定、さらにホームページの公開や物産展の開催などで集客を図っている。

活動の規模

項目	H14	H15	H16	H17	H18
生産量	40,000	38,000	49,000	51,000	50,000
解説	単位：kg 赤そば収穫量				
売り上げ	27,997,793	31,470,976	29,470,976	27,862,773	28,087,002
解説	単位：円 留美庵売り上げ				
来客数	24,247	25,912	24,863	24,588	30,400
解説	単位：人 留美庵来客数（観光バス除く）				
雇用者数	4	4	5	5	17
解説	単位：人				
イベント回数	3	2	2	3	3
解説	単位：回				
イベント参加者	5	5	4	6	7
解説	単位：人 イベントスタッフ				

活用している地域資源

- ・大出地区の農地
- ・景観作物でもある「赤そば」
- ・愛来里農産物直売所

地域活性化のポイント

箕輪町にはこれまで特産品、観光資源がなく「知られていない」存在であったと思われる。そんな中、平成8年より赤そばがテレビに取り上げられ、徐々に箕輪町の知名度が上がってきた。

マスコミへの情報発信や観光ツアーの実施によって、赤そばの花を見られて、そして食べられる場所として知られるようになり、観光客との交流による地域活性化が図られている。

事業の今後の展開方向

「箕輪町のそば屋に行けば赤そばが食べられる」よう、赤そばの栽培面積を拡大し、荒廃農地の解消、景観維持とともに農業の楽しさも伝えていきたい。

普通のそばとは全く違った赤そばの食べ方を提案したり、赤そばの加工品をさらに開発していきたい。

